

議員活動の目標（公約）

飯豊町議会議員の評価

この「議員活動の目標（公約）」は、1年間の議員活動の指標とし、「議員の自己評価」の基礎資料に活用する。

評価期間：平成27年 8月～平成29年 7月

目標期間：平成27年 8月～平成28年 7月

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
総務文教常任委員会・議会運営委員長 産業厚生常任委員長	18	長沼桂子	69

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

項目	具体的な目標項目	評価		評価の結果となった具体的な理由
		取組み評価	結果の評価	
1. 行政分野の取り組み	行政側に自治基本条例の策定を求め、議会と一緒に町民が明るく	△	▲	自治基本条例の策定を求めたが、行政側は取り組まなかった。
	夢のある暮らしができるよう推進する。	○	△	町民が明るく暮らすためには取り組んだ。
2. 財政分野の取り組み	常に有利な町債の活用と、基金を生かした事業の展開。そして自主	○	○	事あるごとに提言しており、有利な町債等を活用しているが、難しいことが多い。
	財源に乏しい本町が他市町に引けを取らない地域づくりを実践できる			
3. 経済分野の取り組み	よう努力する。			
	基幹産業である農業所得の落ち込みを他産業で補えるよう、既存企	○	○	既存企業の育成は、以前から陳情活動をしていたマルコンデンソーの増築が決定した。
4. 福祉分野の取り組み	業の育成と、山大蓄電デバイス関連企業の誘致に積極的に取り組む。			他の企業にも、気、目を配る。
	子育て支援医療の助成を18歳までとしたり、病気時及び病後児保育	○	○	医療費の18歳までの無料化は、一般質問を行なった結果、実施された。その他は継続して
5. 教育分野の取り組み	を実現し、安心して子育てできる環境をつくる。	△	▲	実施できるよう提言していく。
	幼稚園及び保育園の一元化を図り、町内の幼児が平等な教育及び	○	○	わくわくこども園の実現、給食の全施設での実施等ができた。
6. その他の取り組み	保育を受けられるように。また、小学校の統廃合も検討したい。	△	▲	小学校の統廃合は、今後も継続して取り組んでいく。
	本町に定住しない理由として働く場所、冬場の豪雪等がある。	△	△	定住のための働く場所、雪対策のうち、除排雪は他市町より優れているが、家回りの雪片付
	特に克雪のための対策として、融雪溝や融雪パネルの設置に取り	△	▲	けは、もう一步。
	組み、夏も冬も暮らし易い飯豊町を目指す。			